

仮囲いアートの前で笑顔を見せる文登さん。



# 「無意識」から「意識」する存在へ アートを通じ知的障がいのある人を



まつだ ふみと  
松田 文登さん (29歳)

西根改断出身、盛岡市在住

株式会社ヘラルボニー副社長。双子の弟と2018年に会社を経営。趣味は温泉、バス釣り、美術館巡り、卓球。妻と子どもと3人暮らし。

### ▶株式会社ヘラルボニー

■住所 〒020-0874 盛岡市開運

橋通2-38 (HOMEDELUXビル4F) ホームページ

■ホームページ [heralbonny.jp](http://heralbonny.jp)

■その他 川徳百貨店にも出店中



オンラインショップ

「知的障がいのある人を単純に『すごい』と尊敬できる思想を提供したい」と話す文登さん。弟の崇弥さんと福祉企画会社、ヘラルボニーを設立した。会社名「ヘラルボニー」は自閉症のある兄が7歳の頃に自由帳に何度も記していた謎の言葉だ。知的障がいのある人が心では面白いと思っても社会になかなか伝わっていないことを、ヘラルボニーを通して、プレゼンテーションしていききたいという気概が込められている。この事業体系での株式会社は世界的にも初。知的障がいのある人が生み出すアート作品を尊敬しているからこそ、『ビジネスパートナー』として福祉施設と契約し、アートデータのライセンスやアパレル事業のほか、多くの福祉実験を行っている。会社のミッションは「異彩を、放て」。知的障がいのある人を『普通じゃない』と認めたくなくて、アートを通じて社会に放つ。多くの人がアートを入口に知的障がいのある人のことを知り、単純に『ひとりのアーティスト』として尊敬する思想へと変えたい。これまで「知的障がいのある息子が働いたお金ではじめて焼き肉を食べに行った」などうれしい言葉をたくさんもらい、多くの人に応援されていることを実感している文登さん。ヘラルボニーの存在をきっかけに、多くの人の知的障がいのある人へ対する意識・概念を変えていきたいと話す。

## 広報日記



2020年もあと半月。皆さんにとってどんな一年だったでしょうか。一年前から生活様式も大きく変わったのではないのでしょうか。

さて、今月は金ケ崎高校を特集させていただきました。先生方はじめ多くの生徒の皆さんに取材協力していただき感謝いたします。取材では、生徒の皆さんの礼儀正しいあいさつや周りへの感謝の言葉が多かったのが印象に残っています。

2021年もよろしくお願いたします。(村口)

金ケ崎町  
プロモーション動画  
配信中!!



人口と世帯		11月30日現在	
		※( )内は前月比	
人口	15,565人	(-4)	
男	7,980人	(-4)	
女	7,585人	(±0)	
世帯数	6,181世帯	(+3)	

